

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 火・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 I (Comprehensive English I)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	Lc	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 稲毛逸郎 /Eメールアドレス:inage@net.nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部 6F618 教員室 /TEL:095-819-2093 /オフィスアワー: 水曜日 16:10~17:40			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい:高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話す、の4技能の力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。</p> <p>授業方法:英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す訓練を行い、また、リーディング用教材の英文の要点を押さえながら、できる限り速く読み進める訓練を行う。</p> <p>授業到達目標:これらの英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>各授業の冒頭で、プリント教材を使用して英語の聴解練習(dictation を中心としたもの)を実施し、書き取った対話文を基に基本的な英語による発話練習を実施する。その後、英語の読解教材を基に、書かれている内容をできる限り正確に、かつ、速く読む練習を行う。同時に、基本的な文法、語句などについて整理して、今後の自主的な英語学習に結び付けていく。</p> <p>第1回:受講にあつたての諸注意、授業内容についての導入、 Unit 1 Age, Status, and Family 第2回: Politeness 第3回: Feedback 第4回: Rituals 第5回: Titles 第6回: Modesty 第7回: Heart-to-Heart Communication 第8回: Face-to-Face Communication 第9回: Proverbs, and Idioms 第10回: Textbook Language 第11回: Comparing 第12回: Politically Correct Language 第13回: Pronunciation 第14回: Agreeing, Disagreeing, or Simply Not Knowing 第15回 前期のまとめ</p>			
キーワード	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書	教科書として Paul Stapleton (2005) <i>How Culture Affects Communication</i> , Kinseido.を使用する。第一回目の授業までに、生協の販売コーナーで各自購入すること。その他、適宜、プリント教材を使用する。参考書として、手持ちの和英辞典、英英辞典を十分に活用すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(70%)、毎回実施予定の小テスト(10%)、授業中の課題に対する積極的な取組状況(20%)を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標	既習外国語		
備考(準備学習等)			